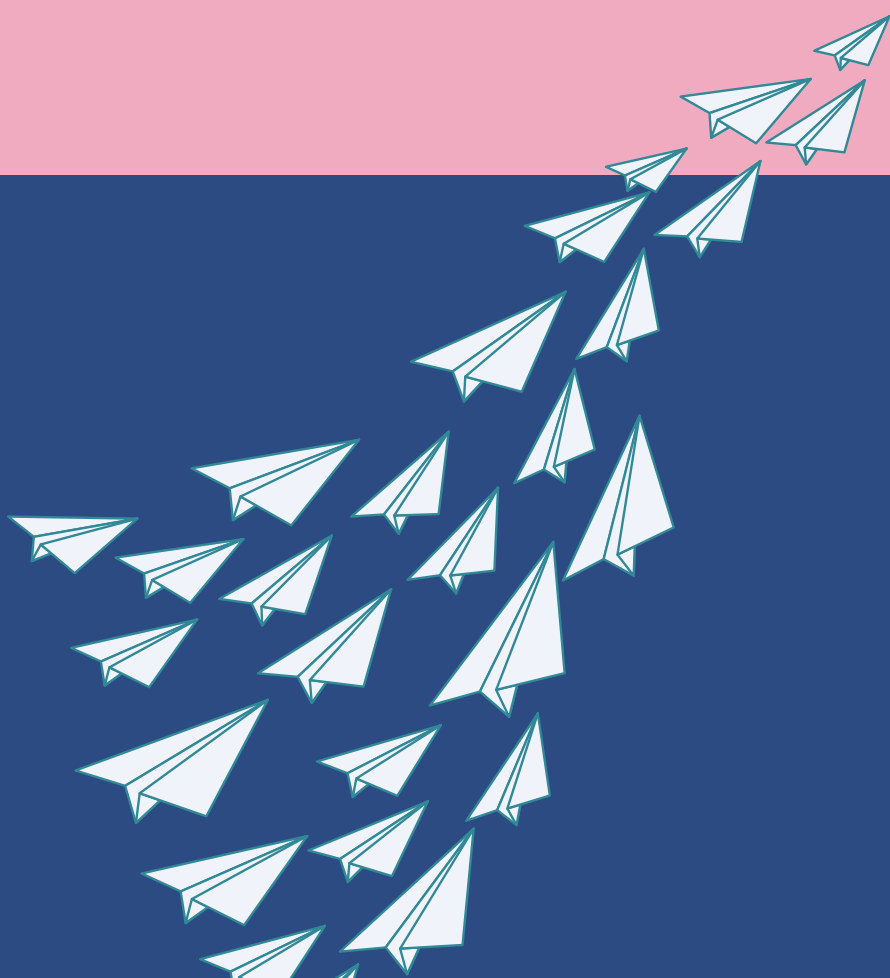


財務省財務局

Local Finance Bureaus

内定者パンフレット



令和5年度版

はじめに

皆さん、はじめまして。

数ある選択肢の中から、財務省財務局総合職に興味を持っていただき、ありがとうございます。

このパンフレットは、財務省財務局総合職への内定を目指す皆さんの参考となっただけのよう、令和5年度財務省財務局総合職内定者で協力して作成したものです。

就職活動に臨むにあたって、不安や心配事も多くあることかと思いますが、私たち内定者の声が、少しでも心の支えとなることができれば嬉しいです。

皆さんの進路選択が後悔の無いものになることを、心よりお祈り申し上げます。



目次

①はじめに・・・・・・・・・・ p.01

②内定者情報・・・・・・・・・・ p.02

(1)基本情報

(2)個人プロフィール

③試験対策・・・・・・・・・・ p.23

(1)全区分共通

(2)区分別対策

大卒法律&院卒行政

大卒経済

大卒政治国際

大卒教養

(3)勉強スケジュール

④官庁訪問対策・・・・・・・・ p.29

(1)官庁訪問体験記

(2)面接対策

⑤内定者対談・・・・・・・・・・ p.33

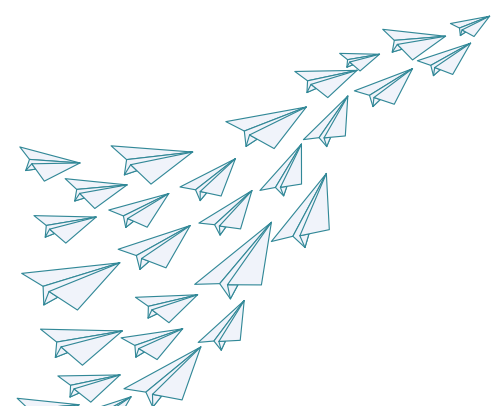
(1)緊張対策&メンタル維持

(2)面接時の心構え

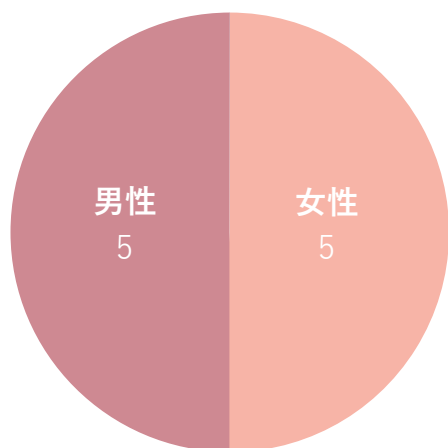
(3)休日の過ごし方

(4)大変だったこと

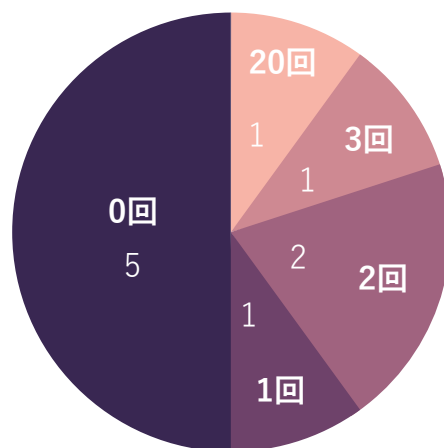
⑥最後に・・・・・・・・・・ p.37



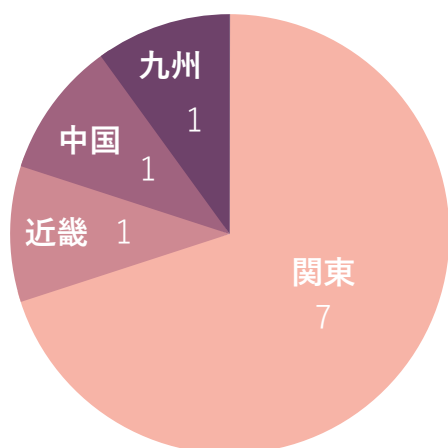
内定者の基本情報



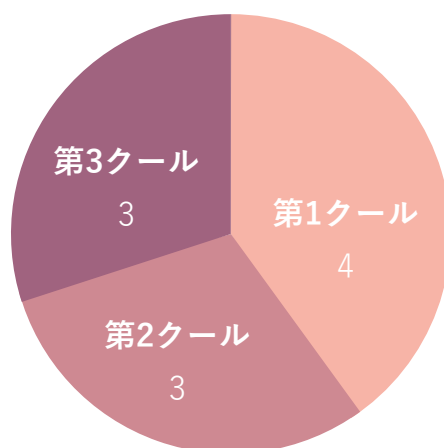
男女比



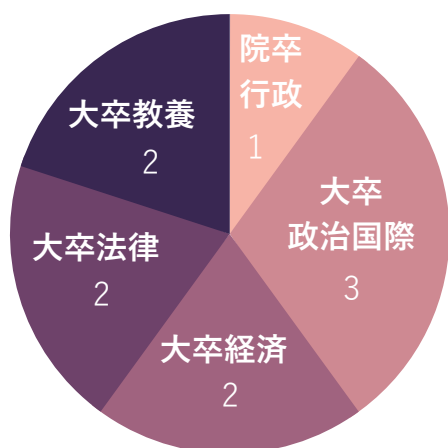
説明会参加回数



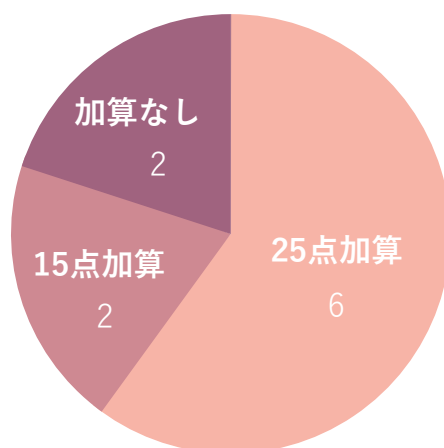
出身地



初回参加クール



受験区分



英語加点

(※)円グラフ中の数値は人数



Profile No.01

- 【性別】 男
- 【年齢】 26歳
- 【出身】 奈良県
- 【大学】 京都大学
- 【学部】 法科大学院
- 【ゼミ】 競争政策・債権法
- 【趣味】 旅行・野球・サウナ
- 【区分】 院卒行政
- 【説明会参加回数】 2回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・公正取引委員会
 - ・財務省財務局

- 他試験種
 - ・国家一般職

- 民間
 - なし



自己PR

物事に対して、協調性と主体性をもって行動できる点です。アルバイトや部活動など様々な活動の中で、組織の抱える課題の解決に努めてきました。その過程で、幅広く意見を求めながら、粘り強く最善策を模索する力が鍛えられたと感じています。



学生時代の過ごし方

○私生活

長期休暇には、青春18切符やLCCを駆使して、友人と旅行に出かけることが多かったです。学部時代は、結構アクティブに過ごしていました。

○法律相談部の活動

部の渉外担当として、OB・OGの方々が集う行事の統括をしていました。



人事から一言

真面目で落ち着いている印象を受ける一方で、話し始めると熱意・芯の強さを感じられました。説明が論理的であり、財務局総合職を目指す明確な動機が感じられました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

ロースクール時代に、コロナ禍において事業の縮小を余儀なくされたり、廃業を判断される経営者の方々と接する機会がありました。その中で、低成長が続き閉塞感のある日本経済を活性化させるための制度設計や政策立案業務に携わりたいという思いが強くなり、国家公務員を志望しました。

○なぜ財務局を選んだか

1次試験合格者対象の省庁合同説明会に参加した際に、「国と地域をつなぐ」というミッションに地方出身者として漠然と共感を覚えました。そして、実態に即した効果的な制度設計を行う際に、政策が実行される現場である地域の声を届けることが出来る財務局総合職に興味を持ちました。



就活の振り返り

○成功談

直前期まで自分の就活の軸と向き合いながら志望官庁を熟考出来たので、迷いなく官庁訪問に挑むことが出来ました。財務省内で行われる説明会に参加し、雰囲気等を実際に肌で感じておくことで、本番での緊張の緩和に成功しました。

○失敗談

周りに公務員試験受験者が居なかったりで、情報収集には苦労しました。気付いた時には、参加したかった説明会の締め切りが過ぎていた時もありました。

定期的に志望官庁のHPやSNSを確認する習慣をつけることが大事だと思いました。

○内定まで振り返って大変だったこと

地方出身者なので、最終合格発表後から官庁訪問のための上京までの間は、バタバタで大変でした。宿泊施設の手配や官庁訪問カードの記入は、計画を立てて済ませておくと気が楽です。

○財務局に決めた理由

法律を専門に勉強してきた私にとって、最初から財政或いは金融に絞ることは自身の視野を狭めることになりそうで不安でした。しかし、財務局総合職であれば、財政金融は勿論、財務局特有の地域ネットワークから得られる地方の声といった幅広い視点、アプローチで制度設計や政策立案業務に携われる点に魅力を感じました。

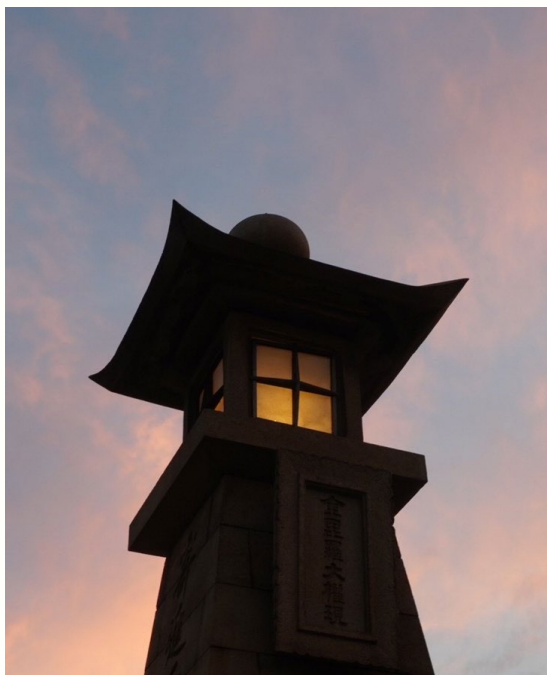
○評価されたと思うポイント

面接でもあまり気負うことなく、自分がここで働きたいという気持ちをしっかり伝えられたと思います。また、官庁訪問期間中に業務内容をより深く知っていく過程で、自身の専門外の知識を吸収し補おうとする姿勢を評価していただいたのかもしれない。



財務局を受ける方へのメッセージ

就職活動期間は不安になったり、悩んだりすることが多いかもしれませんが、それはあなたが自分の進路にそれだけ真剣に向き合っている証拠でもあり、多くの内定者が通る道だと思います。真偽不明の噂や情報に惑わされることなく、真摯に自分と向き合い、後悔の無い選択が出来るように祈っております。その結果として、財務省財務局に魅力を感じて貰えたら幸いです。皆さんとお会いできる日を本当に楽しみにしています！



Profile No.02

- 【性別】 女
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 福井県
(高校から広島県)
- 【大学】 岡山大学
- 【学部】 教育学部
- 【ゼミ】 理科環境教育
- 【趣味】 温泉巡り
- 【区分】 大卒経済
- 【説明会参加回数】 約20回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・金融庁
 - ・国税庁
 - ・財務省財務局
- 他試験種
 - ・国家一般職
 - ・財務専門官
 - ・岡山県庁
 - ・裁判所事務官
- 民間
 - なし



自己PR

相手の理解を得られるような、説明力があります。パン屋のアルバイトにおける、お客様からのクレーム対応で身についたと思います。相手が何に問題を感じているのかを見抜き、相手の求めている点の説明を繰り返してきました。



学生時代の過ごし方

- 学部の勉強
 - 1～4年まで教育実習へ何度も足を運び、教員としての仕事を学んできました。
- アルバイト
 - パン屋、コールセンター、塾講師、ホームファッションセンター、飲食店などで働きました。



人事から一言

ハキハキしており、高いリーダーシップと積極性を感じました。聞いた話を自分なりに整理し考えた上で次に生かすなど、官庁訪問を通じて成長しようとする強い思いが見られました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

公務員は経済発展や利益を目指す中で取り残されてしまう部分にアプローチできると思っています。国全体としての効率化に貢献し、日本一国の舵取りを担っている総合職に特に関心を持ち志望しました。

○なぜ財務局を選んだか

リーマンショックの影響で父の出勤が週3日になり、経済や金融部門の影響力の大きさを実感し、父の助けになることができないうもどかしさを感じました。この経験から誰もこの思いを繰り返さない社会を実現すべく経済・財政・金融の幅広い分野を所管している財務局総合職を志望しました。



就活の振り返り

○成功談

積極的に、就活仲間を増やした点です。対面の説明会では、必ず1人は友達を作るようにしていました。結果、官庁訪問では、仲間に支えられる場面も多々ありました。

○失敗談

就職活動のストレスに耐えられず、ご飯が食べられなくなったことです。2週間で4キロ痩せました。自分に合ったりフレッシュ方法を身に付けておくことをお勧めします。

○内定まで振り返って大変だったこと

自身が教育学部だったこともあり、経済学をゼロから勉強したことです。大変でしたが、元々経済に興味があったため楽しくできました。

○評価されたと思うポイント

私の場合は、とにかく明るい性格だと思います。控室でも、積極的に同じく財務局の官庁訪問に来ている仲間に話しかけていました。盛り上がりすぎて、注意されたこともあるのは、いい思い出です。

○財務局に決めた理由

財務専門官に興味を持っており、最後の最後まで迷っていました。財務局総合職の官庁訪問と財務専門官の面接が被った時に、自身の強みが活かせるのはどっちか…。で決めました。



財務局を受ける方へのメッセージ

私自身が地方大学出身であることから、特に地方大学の方へメッセージを送らせていただきたいと思います。説明会や、官庁訪問の際にも、地方大学の学生は情報収集が難しいことが多くあると思います。しかし、同じ大学の先輩や、説明会で知り合った仲間と協力し合えば、何も怖くはありません！是非皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。



Profile No.03

- 【性別】 女
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 埼玉県
- 【大学】 中央大学
- 【学部】 理工学部
- 【ゼミ】 生命健康科学研究室
- 【趣味】 野球観戦・旅行
- 【区分】 大卒経済
- 【説明会参加回数】 1回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・会計検査院
 - ・財務省財務局

- 他試験種
 - ・国家一般職
 - ・東京都庁
 - ・裁判所事務官
 - ・国税専門官
 - ・さいたま市

- 民間
 - なし



自己PR

私の強みは行動力です。この強みは高校時代のサッカー部のマネージャーや大学時代の売り子のアルバイトで身につけました。社会人になると、自ら考え行動していくことがより大切なので、この強みを仕事でも生かしていきたいと思います。



学生時代の過ごし方

- アルバイト(ビールの売り子)
 - 某球団の本拠地で3年間やっていました。非常に大変なバイトですが、良い思い出です。
- 旅行
 - コロナ禍のため海外旅行は2回しか行きませんでした。国内旅行をたくさんしました。まとまった時間を取りやすい大学生ならではの思い出です。



人事から一言

コミュニケーション能力が高く、その上で芯もしっかりしているので、誰からも好かれそうな印象を受けました。相手の話をしっかり聴くことができ、対話を通じた議論が巧くできていました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

大学の授業や研究室の活動では、街中の危険やその対策について仲間と議論する機会が多く、人々の安心・安全に貢献できる仕事をしたいと考えるようになり公務員を志望しました。

○なぜ財務局を選んだか

公務員試験の勉強を通して、経済学や財政学がとても好きになり財務省財務局の仕事に興味を持ちました。国の予算編成等の政策の企画立案に携わりながらも、現場に赴き、地域に貢献できる仕事である点にも魅力を感じ志望しました。



就活の振り返り

○成功談

とにかく模擬面接をたくさんしたことです。もともと面接は得意でしたが、模擬面接をするたびに新たな発見があるので、たくさんやって損はないと思います。おかげで官庁訪問対策はしていませんでしたが、上手く自分の考えを伝えられました。

○失敗談

自己流の勉強法を確立するまでに時間をかけてしまったことです。試験本番は結果的にうまく行きましたが、学系の暗記科目や専門記述は振り返ると無駄な時間が多かったと感じます。

○内定まで振り返って大変だったこと

通っていた予備校の模試でなかなか結果が出なかったことです。家族や友達と過ごしたい気持ちを抑えて、勉学に励んでいたため、自分が何のために頑張っているのか分からなくなった瞬間が非常に辛かったです。

○評価されたと思うポイント

どんな質問を受けても、冷静に受け答えできる所だと思います。元からどんな回答をするか想定していない質問に対して、素早く考え答えることが得意だったので、大きな強みでした。

○財務局に決めた理由

もともと一般職で財務省本省を目指していて、財政や経済に関する仕事に非常に興味があったからです。また、財務局の業務を通して、将来的に自分の成長に繋がると考えたことも理由の1つです。



財務局を受ける方へのメッセージ

就職活動はもちろん全般が大変ですが、特に公務員試験は民間志望の人より終了するタイミングが遅いことが多いと思います。私自身、周りに公務員志望が少なかったため試験終盤の頃は自由な時間を過ごす友達が多く、自分はなぜこの道を選んだのだろうと不安になることがありました。そんな時でも、自分の将来の理想像や成し遂げたいことを忘れず、自分自身を信じて努力し続けてください！応援しています！！



Profile No.04

- 【性別】 男
- 【年齢】 23歳
- 【出身】 東京都
- 【大学】 早稲田大学
- 【学部】 政治経済学部
- 【ゼミ】 投票行動論
- 【趣味】 野球観戦・旅行
- 【区分】 大卒政治国際
- 【説明会参加回数】 0回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・国土交通省
 - ・総務省
 - ・内閣府
 - ・出入国在留管理庁
 - ・財務省財務局
- 他試験種なし
- 民間
 - ・インフラ系
 - ・商社
 - ・独立行政法人



自己PR

状況に応じて最適な行動ができることです。アルバイトの一員として、自らの裁量が限られている中で、どうすれば目の前の課題やチームが良い方向へ進むかを考え実行する力が身につきました。



学生時代の過ごし方

- 高校時代からの課外活動の継続
 - 長崎県対馬でのフィールドワークに参加し、訪日外国人と日本の間の課題や地方創生について取り組みました。
- アルバイト
 - 鉄道会社やコンビニエンスストアでのアルバイトにいそしんでいました。



人事から一言

人当たりがよく、誠実で好感が持てる点が印象的でした。予期せぬ質問に対しても真摯に懸命に向き合う姿勢や、そのまっすぐな人柄に信頼感を抱きました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

人々の暮らしや経済活動を支えたいと考えているからです。困っている方への対処や、必要なサポートを行うことで、人々がどのような環境下であっても活躍できる社会の実現に貢献したいと考えています。

○なぜ財務局を選んだか

日本全体へ経済・財政・金融の政策を通じて、国民の暮らしや経済活動の後押しができると考えたためです。財務省での企画・立案だけではなく、財務局での執行に携わることでより現実に即した政策を実行したいと考えています。



就活の振り返り

○成功談

友達や大学の先輩など色々な人にES添削や模擬面接をお願いしたことです。他人からの意見を聞くことで、早口になりやすい等の悪い点を矯正し、自らの強みである安定感や緊張しすぎない点を伝えられるようになりました。

○内定まで振り返って大変だったこと

常に就活がメンタルにのしかかっていたことです。就職活動中は家族や親しい友人に甘えがちでした。また弱音を吐く頻度が人生で最も高い時期だったと思います。ですが、趣味の時間を楽しむことでバランスをとっていました。

○失敗談

民間就活と並行していたこともあり、思うような試験勉強ができなかった点です。筆記試験前後は民間企業の面接が突発的に入ることも多く、スケジュール調整が難しかったです。

○評価されたと思うポイント

面接などプレッシャーを感じやすい場面でも落ち着いて対応できたところだと思っています。アルバイトで様々な方と接するなかで形成されたと考えています。

○財務局に決めた理由

財務省というフィールドで働きつつ地域に貢献するという役割が、人々と接しながら課題を乗り越えてきた私の経験とリンクしたからです。そして、共に官庁訪問に来ている仲間が私と雰囲気似ている方々であったからです。



財務局を受ける方へのメッセージ

就職活動中は、ネットの情報や噂話で一喜一憂することも多いと思います。悩み、迷ったときには周囲の人や就職活動で出会った仲間、社会人の方に相談してみてください。頭がクリアになって考えもまとまりやすくなると思います。その考え抜いた先に、財務局という選択肢があれば幸いです。皆さんとお会いできる日を心待ちにしています！



Profile No.05

- 【性別】 女
- 【年齢】 23歳
- 【出身】 東京都
- 【大学】 東京外国語大学
- 【学部】 国際社会学部
- 【ゼミ】 ドイツ近現代史
- 【趣味】 音楽鑑賞
- 【区分】 大卒政治国際
- 【説明会参加回数】 2回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・人事院
 - ・財務省財務局

- 他試験種
 - ・国家一般職
 - ・東京都庁
 - ・神奈川県庁

- 民間
 - なし



自己PR

高校・大学で文化祭実行委員会に所属しており、日程調整や設営準備等の開催にあたっての裏方作業であったり、課題の発見解決が得意です。

精神的な起伏が少なく冷静でいられることが多いため、周囲の人から相談されることが多いです。



学生時代の過ごし方

○専攻言語の勉強

1~2年生のうちには専攻言語の授業の予習・復習・テスト勉強で忙しくしていました。おかげで勉強体力や忍耐力がつけました。

○文化祭実行委員会の活動

文化祭に参加するサークルや部活の企画の管理業務を行っていました。コロナ禍での開催を頑張りました。



人事から一言

大変落ち着いており、自然体で正直な人柄に好感が持てました。洞察力が高く、難しい質問に対しても言葉を選びながら、一般知識に自分の考えを上乗せして話すなど聡明さが感じられました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

格差が社会問題となっている日本の情勢であったり、コロナ禍で社会が混乱する状況を目の当たりにし、自分自身がこれまで恵まれた環境で育ってきた分、縁の下の力持ちとして社会の基盤を支え、誰もが希望を抱いて生きられる社会を実現したいと考えたからです。

○なぜ財務局を選んだか

3年生の夏休みにインターンシップに参加したということもあり、訪問先に選びました。

国・地方・海外とフィールドが幅広く多様なキャリアパスを選ぶことができ、働きやすそうだという印象を持っていました。



就活の振り返り

○成功談

3年生の冬の引退までサークル活動を続けたことです。勉強時間が少なくなる時期もあったので不安になることもありましたが、サークル活動をやり抜いたことで面接での話題も充実しましたし、評価のポイントにもなりました。

○失敗談

自己分析が甘かったことと長い就活に疲弊し、官庁訪問直前に自分が何のために公務員を目指し何をしたいのかわからなくなり、悩んでしまったことがありました。公務員就活は長期戦なので、志望動機は常に胸に置いておくの良いです。

○内定まで振り返って大変だったこと

官庁訪問が1番大変でした。初めてお会いする職員の方々との会話は少なからず精神的負担もあり、また疑心暗鬼にも陥り、心が休まりませんでした。

○評価されたと思うポイント

官庁訪問を通して財務局のミッションを理解し自分の実体験を踏まえてそのミッションに共感を示すという「成長」を見せさせたという点と学業と課外活動両方に精一杯取り組んできたという点です。

○財務局に決めた理由

財務省や財務局のカラーが自分の考え方に合っていると感じました。

また、国・地方・海外と多様なキャリアパスを選ぶことができる点に強い魅力を感じました。



財務局を受ける方へのメッセージ

就職活動、特に官庁訪問は運やご縁という要素も非常に強いと感じました。何気ない会話や偶然隣り合った人などから、予想もしなかった方向に興味や交友関係が広がるが多々あります。いつも視野を広く持ち、オープンな気持ちで官庁訪問に臨んでください。皆さんが自信を持って悔いのない面接が出来ることをお祈りしております。



Profile No.06

- 【性別】 男
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 埼玉県
- 【大学】 一橋大学
- 【学部】 商学部
- 【ゼミ】 資産価格論
- 【趣味】 スポーツ観戦
- 【区分】 大卒教養
- 【説明会参加回数】 3回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・金融庁
 - ・財務省本省
 - ・財務省財務局
- 他試験種 民間
 - ・さいたま市役所 なし



自己PR

目標に向けてひたむきに努力できる点
が自分の強みだと考えています。この点
をさらに磨き、多くのことを吸収してい
きたいと思います。



学生時代の過ごし方

- 学園祭運営委員会での活動
講演会やシンポジウムの企画・運営を
行っていました。
- アルバイト
予備校のチューターとして、生徒の学
習状況の管理などを行いました。



人事から一言

クールで大人しい印象を受ける一方で、
話し込むほどに考えの広さを感じられま
した。質問に対する受け答えも鋭く、自
身の問題意識を絡めながら説明するなど
思考力の高さを感じました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

一企業や一個人のみではなく、社会全体のために働ける点を魅力的に感じたためです。そのなかでもより中心的な役割を担えるため、総合職を志望しました。

○なぜ財務局を選んだか

政策の立案から実行まで携われる点や、財務省本省や地方の財務局、金融庁など幅広いフィールドで働ける点を魅力的に感じ、財務局を志望しました。



就活の振り返り

○成功談

早めに公務員試験の勉強を始めたことで、コロナ禍ではありましたが、サークルやアルバイトなどで時間がとられることも多かったため、早めに試験勉強を開始できたことはプラスに働きました。

○失敗談

志望業界や志望官庁を絞りすぎたことで、視野が狭くなっていたと思います。官庁訪問で職員の方のお話を聞くたびに、自分の興味・関心の薄い分野にも目を向ける重要性を感じました。

○内定まで振り返って大変だったこと

自宅から霞が関まで1時間半以上かかるため、官庁訪問期間は睡眠が十分にとれず、疲労が蓄積していきました。関東圏にお住まいの方でも、ご自宅が霞が関から遠方の場合は、ホテル等への宿泊を検討されることをおすすめします。

○評価されたと思うポイント

とにかく自分の思いを伝えられたことだと思います。職員の方から見れば、内容・実現性ともに不十分なものだったと思いますが、自分自身の問題意識を伝えられ、議論できたことは良かったのではないかと思います。

○財務局に決めた理由

業務の内容はもちろん、職員の方との面談を重ねる中で自分の働いている姿をイメージでき、ここで働きたいと強く思いました。



財務局を受ける方へのメッセージ

パンフレットをご覧いただきありがとうございます。就職活動中は悩みや苦勞が尽きないかもしれませんが、困難に直面した時こそ自分の初心に立ち返ることが重要だと思います。自分のやりたいことや目指す姿は何かをとことん突き詰め、後悔が無いよう、最後まで頑張ってください。応援しています！



Profile No.07

- 【性別】 女
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 千葉県
- 【大学】 早稲田大学
- 【学部】 法学部
- 【ゼミ】 民事訴訟法
- 【趣味】 音楽鑑賞
- 【区分】 大卒法律
- 【説明会参加回数】 0回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・金融庁
 - ・厚生労働省
 - ・財務省財務局
- 他試験種
 - ・国家一般職
 - ・東京都庁
 - ・裁判所職員
- 民間
 - なし



自己PR

柔軟に人の意見を受け入れることのできる、傾聴力です。自分と意見が対立しているからといって否定せずに、なぜその人がその意見を持っているのか、ということ意識しています。



学生時代の過ごし方

- ゼミの勉強
 - 年に1度行われる合同ゼミでの討論大会の準備に力を入れ、個人として優秀賞も得ました。
- アルバイト
 - 常に2つ掛け持ちしており、上手く時間をやりくりしながら働いていました。



人事から一言

受け答えが丁寧であり、朗らかな印象を受けました。柔軟性を持ち、職員との議論やそこで受けた指摘を通じて、自身の考えを多角的に見つめ直し、昇華させていました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

もともと、世の中を大きく変える法律を作ることができる、公務員に興味がありました。また、多くの人にサービスや支援を提供できるのが魅力的だと感じました。

○なぜ財務局を選んだか

施策の企画・立案ができる中央省庁と、施策の実行を担う地方の双方を経験できるからです。また財務局総合職はこの2つをつなぐ立場にあることから、自分の長所である傾聴力を生かせると考えたからです



就活の振り返り

○成功談

ゼミやアルバイトで忙しい学生生活を送りながらも、上手く時間をやり繰りし、公務員試験に向けてコツコツと準備を進めていたことだと思います。特に筆記試験については、計画を立て、継続して勉強したことが最終合格に繋がった大きな要因です。

○失敗談

人見知りで、他の受験者との情報交換があまりできなかったことです。遠慮してしまって、聞けないことも多かったです。

○内定まで振り返って大変だったこと

官庁訪問で最後まで緊張が続いたことです。メンタルを保つのが大変でした。他の受験者や家族のサポートのおかげで、なんとか就職活動を終えることができました。

○評価されたと思うポイント

素直なところだと思います。深く考えるタイプではないので、不安なことも直接質問していたのがよかったのかなと、振り返ってみて思います。

○財務局に決めた理由

官庁訪問を通じて、自分と真摯に向き合ってくれていると感じた点。また、幅広い業務に携わることができると感じた点です。



財務局を受ける方へのメッセージ

就活を通じて、苦手だった面接の対策を後回しにしてしまい大変だったので、計画を立てることの大切さを実感しました。皆さんは、嫌なことから片づけると気持ちが楽になると思います。

私は、就活中は不安な気持ちだらけでした。このパンフレットを読んでいる皆さんも同じ気持ちだと思いますが、悩む前に、まずは説明会に参加してみたり、同じ目標を持つ友人と話してみるなど、具体的な行動に移してみるといいと思います！心から応援しています！



Profile No.08

- 【性別】 女
- 【年齢】 23歳
- 【出身】 神奈川県
- 【大学】 慶應義塾大学
- 【学部】 法学部政治学科
- 【ゼミ】 なし
- 【趣味】 音楽鑑賞
ショッピング
- 【区分】 大卒政治国際
- 【説明会参加回数】 0回



併願先

- 官庁訪問先
 - ・外務省
 - ・防衛省
 - ・財務省財務局

○他試験種
なし

○民間
なし



自己PR

主体的に物事に取り組む行動力が強みです。大学時代に参加していたインターンシップでは、数値上のデータでは本当に顧客が求めていることがわからないと感じたため、ターゲット層とコンタクトをとりインタビューを十数回実施し情報を収集しました。



学生時代の過ごし方

○長期インターン

大学1年生の秋からマーケティング業務に携わっていました。業務を自分で考えて行動に移すという貴重な経験ができました。

○学生団体での合宿運営

大学生の運営メンバーと共に2週間の合宿をやり遂げ、タフさが身についたように思います。



人事から一言

説明や質問が的確であることに加え、自らのエピソードに裏付けられた視野の広さやバランス感覚の良さも伺えました。協調性が高く、集団の中でもうまく溶け込んでいける印象を受けました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

高校時代にアメリカの大学の講義を受けたことがきっかけです。アメリカの経済規模の大きさを実感する中で、少子化や災害の激甚化など様々な社会問題を抱える日本がどのようにプレゼンスを発揮すべきか考え公務員として日本を支えたいと考えるようになりました。

○なぜ財務局を選んだか

元々国際的な関心が強かったのですが、官庁訪問の中でまず国内の問題を解決しなければいけないのではと考えるようになりました。その上で、東北地方で地元の方々と接し、震災から復興した町の力強さに感銘を受けた経験から、地方創生に関心を持ち財務局を志望しました。



就活の振り返り

○成功談

官庁訪問で1日ごとに予備校の講師と反省点を話し合ったことです。話す中で「自分を出せていなかったこと」に気づき、その後の財務局の面接では修正できました。積極的に周りにアドバイスを求めることが大事だと思います。

○失敗談

面接を無難に終えようとしすぎて、自分の気持ちを素直に伝えるという一番肝心なことがおろそかになっていた点と、筆記試験の勉強に必死になりすぎて、官庁訪問に向けた情報収集や面接練習をしていなかったことです。

○内定まで振り返って大変だったこと

第1志望だった省庁に、第3クールで落ちてしまい、そこからメンタルを立て直すのが大変でした。後悔してる時間はないので、しっかり切り替えて財務局の面接に臨み、財務局の魅力を知ることができました。

○評価されたと思うポイント

感情表現が豊かなところだと思います。面接では相手の目を見て明るくハキハキ話すことと、職員の方々の話の中で、関心を持ったことを積極的に聞くことを心がけていました。

○財務局に決めた理由

財務局のことは第2クール直後に知り、ほぼ何もわからない状態で訪問しました。しかし面接を重ねる中でそのキャリアの幅の広さや「地方で得た知見を財務省本省で活かせる」という独自性を知り、強い魅力を感じ財務局に決めました。



財務局を受ける方へのメッセージ

官庁訪問にあたり、不安を抱えている方は多いかと思います。私は第1・2クールではなかなか自分を出せず苦労しました。そんな経験から思うのは、アドバイスを積極的に受け反省点を改善していくことの重要性です。家族や友人、予備校の講師など、相談できる相手と話す中で自分では気づけない自身の強みや反省点が見えてきます。就職活動は長く、苦しいこともあるかと思いますが、自分自身を見つめ直す姿勢を忘れずに頑張ってください。応援しています！



Profile No.09

- 【性別】 男
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 宮崎県
(大学から東京都)
- 【大学】 東京大学
- 【学部】 教養学部
- 【ゼミ】 戦争原因論
- 【趣味】 旅行
- 【区分】 大卒教養
- 【説明会参加回数】 0回



併願先

- 官庁訪問先
- ・財務省本省
 - ・防衛省
 - ・財務省財務局
- 他試験種
- ・県庁
- 民間
- ・コンサル
 - ・物流



自己PR

論点抽出および意見の調整力に強みがあると考えます。インターン先の新規プロジェクトや副責任者として学園祭企画に携わる中で、複数の意見が衝突した際に何が論点となっており、妥協できる余地はどこなのかを考える力が涵養されました。



学生時代の過ごし方

- 学業
- 国際関係論を専門に定め、戦争が起きる原因や、広範な安全保障という概念に歴史・理論の両面からアプローチしました。
- 課外
- 合唱サークルに参加したほか、休日を利用して友人たちと日本各地へ旅行しました。



人事から一言

緊張しやすい性格ながらも、何事にも一生懸命に取り組む姿勢が感じられました。物事について深く考え、その上で自身の思いを伝えようとする粘り強さも印象的でした。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

特定の人のみではなく、社会全体の人々の安全な暮らしの基盤を支えられるのは公務員しかないと考えたからです。その中で様々な社会課題に向き合い、政策立案といった、よりダイナミックな観点から携わることのできる総合職に惹かれ志望しました。

○なぜ財務局を選んだか

経済・財政・金融という最重要のアセットを通じて課題解決に貢献できると考えたからです。また幅広いキャリアパスを通じて多様な視点を養うことができるだけでなく、自ら施策の執行にも携わることで、PDCAサイクルを回す実感を得られることも魅力的でした。



就活の振り返り

○成功談

大学のコミュニティを通じて就活仲間と情報交換や相談を行った点です。大学にある学科部屋に行った際には積極的に会話をし、自分の悩みや疑問の解決していました。官庁訪問では、彼らに何度も支えられました。

○失敗談

学業などとの兼ね合いで就活全般への対策が遅れてしまいました。不必要に焦ってしまい、体調を崩して力を十分に発揮できない……という悪循環に陥ってしまった時期もありました。

○内定まで振り返って大変だったこと

官庁訪問中、緊張状態が続いたことが負担でした。朝早くから夜まで続く訪問期間中には中々寝付けず、そのせいか体調・精神共に不安定になりました。

○評価されたと思うポイント

私は第3クール2日目から財務局を訪問したのですが、失敗を引きずらずに切り替えて、財務局という組織に真摯に向き合えた点を評価されたのだと思います。職員の方々や控室の学生は皆温かく且つ優秀で、議論を通じて大いに刺激を受けました。

○財務局に決めた理由

民間からも内定をいただいております。迷いはありました。しかし、自分がそもそも仕事に求めるのは何なのかという原点に立ち返り、広く公益に貢献できる財務局に決めました。



財務局を受ける方へのメッセージ

本パンフレットを取ってくださり、ありがとうございます。広範な選択肢の中から納得できる選択を導くにあたっては、思い悩むことも少なくないと思います。今一度自分がどういう人間で、何をしたいのかという原点に立ち返り、改めて進むべき道を考えてみてください。その中で、財務局総合職という仕事に興味を持っていただけたら嬉しいです。うまくいくことばかりではないかもしれませんが、皆さんが後悔なく就職活動を終わられることを心から願っております。体調にお気をつけて頑張ってください！



Profile No.10

- 【性別】 男
- 【年齢】 22歳
- 【出身】 東京都
- 【大学】 早稲田大学
- 【学部】 商学部
- 【ゼミ】 なし
- 【趣味】 音楽鑑賞・読書
- 【区分】 大卒法律
- 【説明会参加回数】 0回



併願先

- 官庁訪問先
- ・厚生労働省
 - ・経済産業省
 - ・内閣府
 - ・財務省財務局
- 他試験種
- ・労基監督官
 - ・東京都庁
 - ・埼玉県庁
 - ・裁判所事務官
- 民間
- なし



自己PR

自分の意見について、周囲に流されることなく決定し表明できることや、長期的な視野に立つことで、目先の目標のみに注意を向けるのではなく、何が必要であるかを常に考えることができるのが長所だと考えています。



学生時代の過ごし方

- サークル幹部としての活動
- 会費の管理や企画の行程立案、新入生の募集や学園祭でのブース設営など幹部の活動を一通りやりました。
- コンビニでのアルバイト
- 駅のホーム上にあるコンビニでアルバイトをしていました。迅速な対応が求められる職場でした。



人事から一言

控室において他の訪問者と積極的に会話しており、明るい印象を受けました。質問への回答が素早く、一見、野性味が感じられるものの、自身の軸を持って面接に臨んでいると思われました。



志望動機

○なぜ公務員を選んだか

相手を限定せず広く国民に貢献できる点と、特に総合職は政策や予算に直接携わることができ、やりがいを感じやすいと思ったためです。また、利潤を追求する民間企業と異なり、公平性や必要性を追求することができる点も魅力に感じました。

○なぜ財務局を選んだか

お金という、どの政策を行うにしても避けて通れぬ財政・金融の分野で働くほか、必ずしも国民の理解を得やすいとは限らない財政分野などの政策を立案する上では、霞が関よりも国民の視点に近い、地方財務局での執行現場経験が活かせると考えたためです。



就活の振り返り

○成功談

余裕を持ったスケジュールで試験勉強を始めたので、安心して試験に臨めたことは勿論、直前期においても学生生活との両立が可能でした。独学で自分のペースに合わせたスケジュールを設計できたのが幸いです。

○失敗談

2次試験が終わった後、1か月ほど官庁訪問まで時間があっても関わらず、燃え尽き症候群になってしまい対策を殆ど行わなかったことです。事前に自分の志望動機や自己PRなどをしっかりと整理しておくべきでした。

○内定まで振り返って大変だったこと

特に官庁訪問は、志望順位の変動や他省庁の状況、併願先との日程被りなど、予測していなかった事態が色々発生したため、軌道修正をするのがスケジュール面でも精神面でも非常に大変でした。

○評価されたと思うポイント

財務局総合職では職員ごとにキャリアパスが千差万別です。私自身、特定の分野や部局のみではなく、経済・財政・金融と幅広く興味を持つことができている点を評価されたのではないかと感じています。

○財務局に決めた理由

職員の方々と直接お話しをする中で、財務局総合職の幅広い業務内容に関心を持ったことと、官庁訪問を通じて人物本位の面接をしていただき、自分の志望動機や意見を率直に語る中で、財務局と自身がマッチしていると感じるようになったためです。



財務局を受ける方へのメッセージ

大前提として、就職活動においては自分自身と向き合うことが必要不可欠です。一方で、自分で自分を理解するということには限界があるとも思います。友人や家族といった身近な存在や、面接官からのフィードバックは貴重な情報源です。自分自身と向き合いすぎて考えが止まってしまったと感じるときは、是非周りの人に自分の印象について訊いてみてください。主観と客観のバランスを上手にとることが重要だと思います。

試験対策

全区分共通

(※) 対策については内定者の主観にもよりますのであくまで参考としてください。

* 教養・知能分野 *

どの試験種においても必須解答で出題数が多いため、3年生の夏休み頃から本格的に対策を始めた人が多い。

【文章理解】

本番前の1ヶ月毎日30分過去問演習をしたのがとても効果的だった。

【数的処理】

出来るだけ毎日問題に触れ、感覚を維持するように努めた。過去問演習を中心に勉強を進める中で、自力で解法を導き出せるよう訓練するのが重要であるが、他方でパターンを暗記するぐらい演習量を重ねることも大切だと思う。

また数的処理・判断推理は、得手不得手が出易い科目もあるので、自分が目標点数を取るために基礎能力試験のどの分野からどの様に得点するか戦略を練った上で、メリハリをつけて勉強することも肝要だと思う。

* 教養・知識分野 *

基本的に暗記科目なので、直前期に一気に固めるべきという意見が多い。

【人文科学・自然科学】

自分がセンター試験で使った科目を中心に高校で勉強したものだけ対策すれば十分だった。一方で、人文科学や生物地学などはNHK高校講座を見ると高校時代の記憶がなくてもある程度はできるようになるという声も。

【時事】

普段からニュースを読む習慣をつけると共に、SNS上で公開されている公務員試験の時事対策動画を隙間時間に見るなどして、効率良く学習した。

* 政策論文 *

筆者の場合は、総合職試験の政策論文について特定の対策は行わなかった。ただ、他の試験に向けた論文の対策は行っていたため、その知識を活用して本番も書くことができた。

対策としては、過去問や自分で今年出そうと予想した問題をピックアップし、1月は2週間に1回、2～3月は1週間に1回、4月は3日に1回程度で論文を書き、予備校講師に添削してもらった。

また、論文を書くにあたり時事の知識も必要になってくるので、教養の時事問題対策と並行して知識のインプットに取り組んだ。

資料は全て使う前提で、与えられた資料から出題者が何を書いてほしいかをある程度推測して書くと良いと思う。

大卒法律 院卒行政

* 専門択一 *

【憲法・民法・行政法】

有名な問題集をひたすら回して満点を取れるまでやる。正答の選択肢文を書き写す練習をすると、論述の時に役立つ。判例の結果だけでなく、どういった論理で合憲なのか違憲・違法なのかなど論点部分をしっかりやらないと専門記述で痛い目を見らると思う。

【労働法・刑法・商法】

筆者の場合は3つのうち2つに力を入れ、1つは捨てた。これも参考書を回しつつ、頻出分野と出題されにくい分野で緩急を付けて暗記した。こちらは専門記述で選択しないのであれば、判例だけ覚えるのでも通用した。

【財政学】

数字を暗記しなければいけないので、短期で一気に暗記する方がいい。財務省のHPなどで年度予算の解説が載っており、そこを見ると予算の背景が分かるので選択肢を切りやすくなる。筆者の場合は当該年度の予算内訳は全部暗記した。

* 専門記述 *

【総論】

下記全ての科目において、例年同じような出題傾向なので、過去問研究が大事。また、本番までに実際の試験時間を測って、アウトプットの練習しておくのが良いと思う。記憶していたり頭で理解していたりするつもりでも、実際に白紙の紙に一から定義や要件等を文章で書くのには訓練が必要。その意味でも、要件等を完璧に暗記してから演習に入るより、記述試験の演習をしながら、暗記も同時並行的に進めて行く勉強法をお勧めする。

また、択一知識がそのまま論文試験でも出題されたり、論文試験の前提となっていることが多いので、1次試験後も択一知識の定着を確認し続けることが、勉強効率的にも一番良いだろう。

【憲法】

基本的に人権問題が出題される傾向が高いように思うので、人権の処理手順を自分の中で確立しておく。具体的には『侵害されている自由の認定⇒当該権利が憲法上保障される権利なのか⇒規制態様や権利の性質を踏まえた上での審査基準の定立⇒適切なあてはめ』という大枠を崩さなければ、大きく点数が落ちることは無いと思う。

また統治分野は、基本論点がある程度抑えた上で、択一試験の知識をその場で応用したりして、自身の思考の過程を答案に示せば、一定程度評価はされると思う。

【民法】

基本的には『原則⇒例外』の思考を忘れず、原告側の主張と被告側の主張を分けて答案を構成すると所謂論点落ちが防げるのではないと思う。民法は一番量が多く、暗記量も膨大なので、すべてを完璧にすることは受験戦略上非効率だと思う。特に広く浅くを意識して勉強に取り組むべき科目だと思う。1周目は、それぞれの契約形態や単元での基本的な要件と典型論点だけ暗記して、とにかく穴の無いように網羅的に勉強することが大事。知識が先行しすぎて、法的三段論法を無視しがちな答案になるので、そのあたりも注意したい。

【行政法】

個人的に択一試験と一番親和性が高い科目だと思う。出題パターンもほぼ決まっているので対策し易い。具体的には、処分性、原告適格、国賠、行政上の義務履行確保手段や各訴訟要件の理解からの出題がほとんどである。上記分野に関わらず、過去問で出題された分野で、答案作成上避けて通れない定義をストックし丸暗記して臨むと、本番で具体的な事実を踏まえた当てはめを考えることに労力を割けるので、点数が伸びやすいと思う。あてはめの際にどうしても文が長くなってしまいがちで、読み返すと主語と述語が一致していないことが良くあるので注意が必要。

大卒経済

* 専門記述 *

【総論】

経済理論や財政学のように択一にも出題される科目については、日ごろからテキストを読み込む癖をつけておくことをお勧めする。

筆者の場合は、本番までに択一用の問題集を7周したが、問題集を解く前に必ずその範囲のテキストを読み込むようにしていた。そうすることで、択一試験用にとどまらない理解ができるようになり、記述対策を特段せずとも本番の試験を突破できた。

ただ、過去問を使って時間内に解答を作る練習はしておくべき。

【各科目】

経済理論：設問が多いので、できるところを落とさないようにすれば大丈夫だと思う。

財政学：経済理論よりとっつきやすい問題が多い印象。

経済政策：あまり使わないようにしていた。

* 専門択一 *

【総論】

過去問を解いて、どのくらいが自分にとって捨て問なのかを見極めておくべき。

筆者は理系なので、全ての専門科目が初学だった。法律系は苦手だったが、例えば憲法は問題演習を何度も繰り返し、比較的得意にすることができた。判例が大事なので、自分で判例をまとめたノートを作成したのがよかったと感じる。

総合職の試験問題は、問題文が非常に長いので問題文の中にたくさんヒントがある上、解答時間が長いので、じっくり考えて解答することができた。

【必須科目】

経済原論・経済事情：普通の公務員試験向けのテキストでは太刀打ちできない問題が多い。直前期には必ず過去問を活用しよう。

財政学：数値を覚えること。時事や政策論文、面接でも役立つ。

統計学：捨て科目にする人が多い傾向にある。

【選択科目】

憲法・民法：法律区分と同じ問題が出る。特に解きやすいものが経済区分では出題されるので、基本を大切にすると良い。

経営学：初見の物もよく出るが、筆者の場合、その時は潔くあきらめた。

経済史：筆者の場合は解けそうな問題があれば解く程度にしていた。

大卒政治国際

* 専門記述 *

【総論】

専門記述の準備にあたっては、事前にどの科目を解答するか、何科目用意するか決めておく必要がある。

どの程度対策に注力するかは人によるが、念入りに対策をした人は、過去問をまず択一の知識を使って解き、その後過去問集の解説内容を読みインプットするのを繰り返して対策をしていた。また、記述の際には論文のポイントごとに文字数とかかる時間をメモし、記述にとりかかっていた。

大学で論文記述の経験が豊富な人の中には、時間内に書ききるためのイメトレをする程度で本番に臨んだという意見もあった。

本番に備え、予備校の模試を利用するのも有効。

【各科目】

行政学：年度によって難易度の差が激しいので注意。択一の知識で書けそうだったら書くと良い。

政治学：過去問の出題を参考に、頻出事項を押さえよう。近年の政治テーマを意識した出題も多いため、大学の講義やニュースを通して時事的な知識もつけておくと良い。

国際関係A,B：一通り過去問に目を通し、求められる知識や出題の傾向を掴む。Bでは英文が出題されるがすべて完璧に読み切る必要はないと思う。

公共政策：データを見比べる点が他の設問と異なる。大学等の課題や日々のニュースとしっかり向き合い、論文の解答練習を重ねることが不可欠。

* 専門択一 *

【総論】

基本的には講義を受講/テキストを読む⇒過去問集を解く⇒何周もするという流れで勉強を進めた。

大学で履修した科目があれば大学の講義の復習をすることも有効。独学者は特に、政治系科目を未習の場合も該当科目の大学の教科書に目を通しておくと良い。

暗記科目が多いので、要点まとめノート作成、暗記アプリを使用するなど工夫して暗記の徹底に努める。

公務員試験のセオリーだが、全科目を完璧に仕上げる必要は無いと思う。従って、勉強スケジュールに余裕の無い人は特に直前期の時間は計画的に使うと良い。逆に余裕のある人は直前期に過去問集を繰り返し解いて知識の穴を潰そう。

教養試験に自信の無い人は配点が高く点も伸びやすい専門択一に力を入れると良い。

【必須科目】

憲法：重要科目。過去問集を繰り返す・テーマごとにまとめを作るなどしてしっかり暗記した。

政治学：過去問の問題数が豊富なため、過去問集ベースの学習がおすすめ。テキストで理解し、過去問を暗記しよう。

国際関係：世界史の流れと合わせて知識を入れると楽。英単語の知識や英文読解も重要なため、知識が定着してきたら付随して英単語も覚えよう。

【選択科目】

行政法：非法学部でも民法よりはるかにとっつきやすい。勉強法は憲法と同じ。

行政学：法・経済に馴染みのない学部出身者にはおすすめ。勉強法はただ暗記。

国際事情：世界史や国際的なトピックに明るい・英文読解に難が無ければ当日問題を見て解けそうだったら選ぶと良い。

国際法：範囲が膨大なため、頻出分野(海洋法など)に絞って学習する。

財政学：文系の人も得点を狙いやすい。日本の財政事情や財政制度など頻出事項に絞り暗記する。

大卒教養

1次試験

【基礎能力1部】

数的処理を中心に過去問演習を行った。自力で解法を導き出せるよう訓練するのが重要であるが、他方でパターンを暗記するぐらい演習量を重ねることも大切だと思う。

【基礎能力2部】

大学入試の経験を活かした。高校時代に履修していない科目については深掘し過ぎず、得意な分野での失点を最小限に抑えることにした。

また時事と絡めた問題が多く出るので、問題集を買っておくといいかもしれない。

【総合論文】

試験全体の中での配分が大きいため、重点的に対策すべき。制限時間がシビアなので、時間内に文章を書ききれるよう、過去問演習を繰り返した。

日常的に紙に文章を書く経験が少ない人は、その点も注意すると良いと思う。

2次試験

【企画提案】

参考資料は分量が多くても満遍なく読み込むべき。

また資料の内容に関して、友人等と議論を交わしておくことが効果的だと思う。

余裕があれば各分野ごとに複数の予測回答を作成しておくといよい。

【政策討議】

どの分野が出題されるかが分からないため、日常的にニュースに気を配っておき、様々なことに問題意識を持つておく必要がある。

また、意見表明の紙をきれいに書く練習を徹底しておくといよい。

【人物試験】

各項目について柔軟に対応できるようにしておく必要がある。自己分析の徹底が極めて重要である。

ただしここで問われているのは国家公務員への志望理由であって特定省庁への志望理由ではないので、面接時に後者に偏りすぎた説明にならないように注意したい。

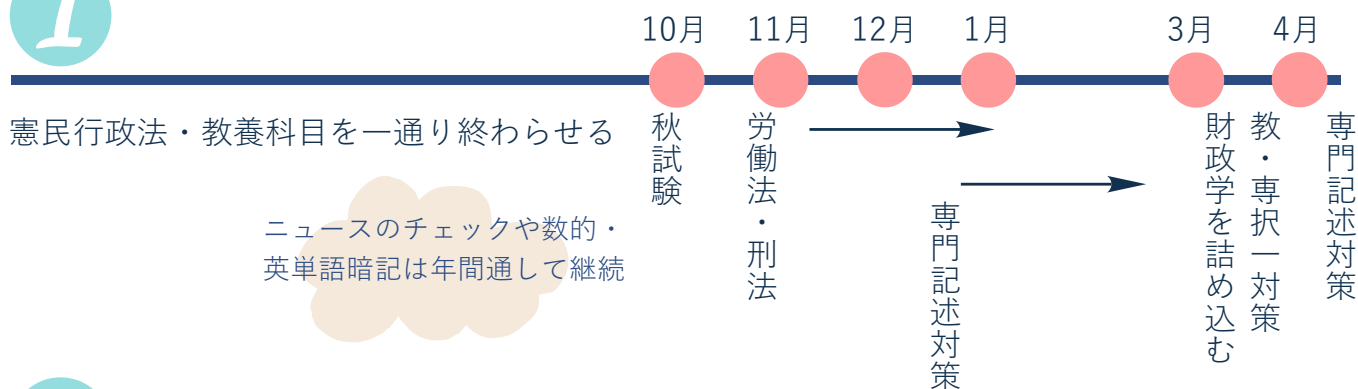


勉強スケジュール例

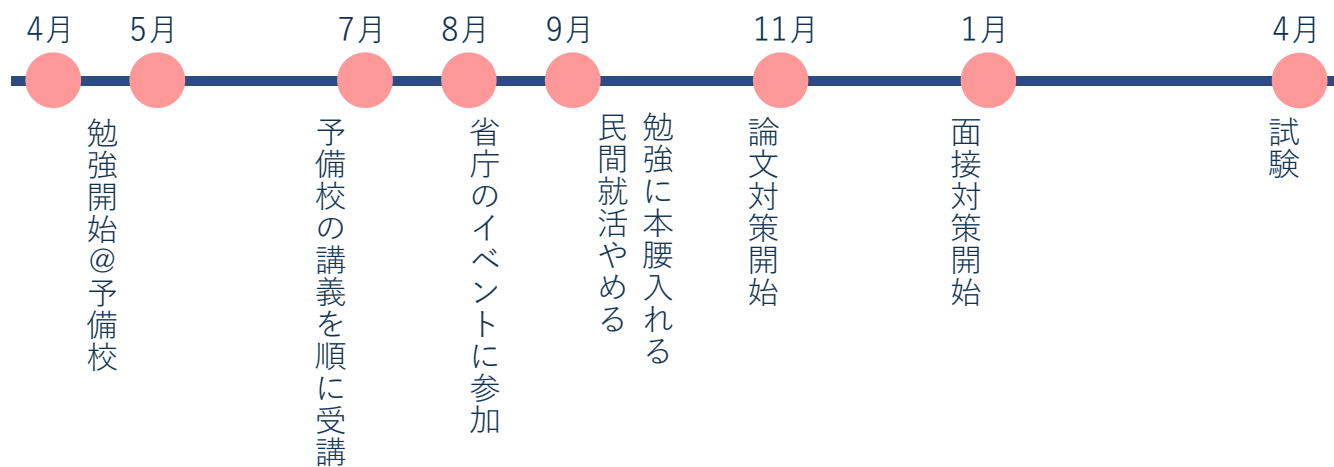
(※)あくまで参考としてください

- 1 法律区分内定者の年間スケジュール
- 2 経済区分内定者の年間スケジュール
- 3 政治国際区分内定者の年明け以降の1日スケジュール

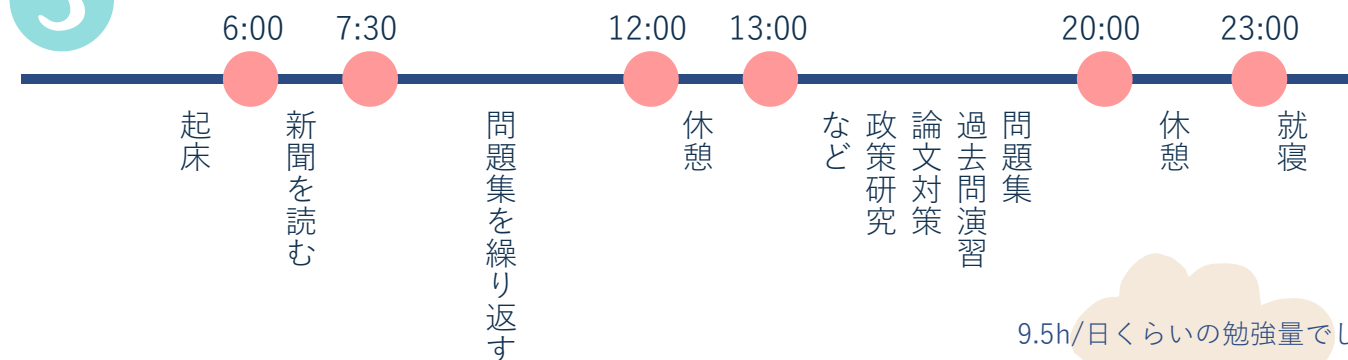
1



2



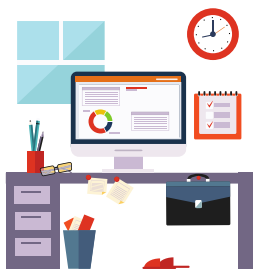
3



官庁訪問体験記

官庁訪問とは

国家公務員総合職として採用されるために、国家総合職試験に最終合格した後は「官庁訪問」という過程に進みます。人事院が定めたルールに則り、受験者は志望する省庁を期間内に訪問し、各省庁の選考過程に進みます。官庁訪問は、各省庁の採用プロセスであると同時に、各省庁と受験者とのマッチングの場でもあります。現役職員の方々のお話を聞いたり、省庁への熱意をぶついたりしながら、自分はどの省庁をなぜ志望するのかを明確にし、自分の成し遂げたいことを伝えましょう。



控室集合

9:00

受付名簿に名前を書いて、入口面接が始まるまで待機。第1クール1日目では、皆緊張していて控室は静かでした。(第2クール以降は雑談も増え、各自思い思いに過ごしていました。)

入口面接

9:15

人事の方と面接。軽い自己アピールと原課面接でどんな人と会いたいかのヒアリングがありました。

原課面接①

9:30~10:00

面接する職員の方が控室まで迎えに来てくれます。筆者の場合は、入口面接で希望した、若手女性職員の方と留学や国際業務、公務員としての信念、キャリアパス、やりがいについての話をしました。

原課面接②

11:00~12:00

官庁訪問カードに基づき、ガクチカについて質問を受けた他、様々なキャリアを持つ職員に志望動機のブラッシュアップについてフィードバックを受けました。

昼休み

12:00~13:00

財務省内には食堂もありましたが、コンビニで軽食を買う人が多かった印象です。予め宿泊しているホテルの近くで買ってからくる人もいました。





原課面接③

14:30~15:30

業務説明と質問の他、総合職としてマネジメントの仕方、何をミッションとして働いているかを伺いました。原課面接を通して、財務局への理解を深めていきましょう。

人事面接①

16:30~16:50

官庁訪問カードを見ながら、ガクチカや志望動機の確認を受けました。堅くない雰囲気でした。また、志望動機に悩んでいたため、その点を素直に職員の方にぶつけました。

原課面接④

17:30~18:30

業務説明の他に、子育てと両立して来られた方との面接だったので、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革についてのお話と、財務局のミッションとは何かについて伺いました。

人事面接②

19:00~19:30

穏やかな雰囲気でした。また、原課面接を通して感じた、自身の将来像や行政官になって何をしたいかなどを話しました。

出口面接

20:00

最初に1日を通しての感想を聞かれました。自身への評価する点とあわせて指摘された修正点を踏まえ、次の訪問に活かしましょう。



官庁訪問の便利アイテム

- クリアファイル … 貰った書類を整理するのに使う
- ノートPC … 説明会の資料等は、紙で持ち込むと量が多いので電子で持ち込む面接後に内容を整理してまとめるのにも便利
- 常備薬 … 体調を崩したくないなら、持っておくと安心
- お菓子 … 軽食用や糖分の補給に
- 書籍 … 志望先の政策に関連する本や、面接対策本など
(次の面接準備に忙しくて読む暇がないという意見も)



面接対策



01

印象に残った面接官の質問・発言

- ・志望動機や自己PRは本心か
⇒官庁訪問は学生と省庁のマッチングの場でもあるので、あまり飾らずにありのままの自分をぶつけてみることも就職活動という意味では大切かもしれません。
- ・日本の最重要課題は何だと思うか
⇒国家総合職試験を受けようと思ったきっかけや理想とする日本の姿を臆することなく伝えてみてください。
- ・なぜ財務省や金融庁ではなく、財務局なのか/なぜ、地域に貢献したいのか？
⇒財務局の志望動機にも関連してくる質問です。自身の志望動機を深めるためには、避けて通れない質問だと思います。
- ・どうやって省・局に貢献できるか？
⇒自身の強み・アピールポイントをどのように活かすことができるのかを具体的に考えながら、業務説明会や面接に参加してみると、入局後のイメージが湧き易くなると思います。
- ・財務局職員として長年勤務する中で、多様かつ広範な経験をさせてもらったが、このキャリアパスは自分だけの財産になっている。
⇒キャリアパスが千差万別であることは、様々なフィールドで活躍の機会がある財務局総合職職員の特徴であり魅力の1つだと思います。



02

聞いてよかった逆質問

- ・現在の業務内容や今までのキャリアパスについて
⇒説明会ではなかなか聞けないより詳細な業務内容を知り、それに付随する逆質問をすることで、入局後のイメージを具体化させていきましょう。
- ・財務局総合職職員として、何をミッションとして考え働いているか
⇒「国と地域を繋ぐ」という役割を具体的に知り、職員の方の想いを知ることによって財務局総合職職員として求められる役割の理解が深まるかもしれません。
- ・働き方について
⇒家庭と仕事の両立や地方への転勤を含むキャリアパス等、霞が関勤務に際して不安がある方も多いためと思います。入局後にギャップが無いように、様々な経歴を持つ職員の方との面接の中で色々聞いてみてください。



03

アドバイス・伝えたい事【事前準備編】

・東京都民ですが、霞ヶ関まで満員電車かつ1時間超えるので、近場でホテルをとりました。官庁訪問は朝早くから夜まで続き、加えてメンタルが削られる闘いなので、体力温存を心がけると良いです。

(内定者宿泊地域例：赤坂見附、銀座、新橋、人事院の幹旋宿泊施設等)

・ホテル暮らしするのに、就活用の靴を荷物に詰め忘れてました。取りに帰れたので良かったのですが、当日の朝気づいていたらと思うと恐ろしいです。就活道具の忘れ物にはくれぐれも注意してください。

・昼食は事前に行って控室で食べましたが、省内のコンビニや食堂を利用することも出来ました。ただ、省内で迷子にならないように注意してくださいね。

・オンライン面接も可能である場合は、事前に自宅や宿泊先のネット環境及び室内の明るさ等を確認しておきましょう。



04

アドバイス・伝えたい事【面接編】

・シンプルですが、面接官のお話を真剣に聞くことがまずは大事だと思います。

・面接官の経歴は逆質問を考える上で非常に重要だと思います。面接の最初に経歴を話して下さる面接官がほとんどなので、聞き漏らさないように丁寧にメモを取りました。

・他省庁では落とされないように本音でない飾った回答をしてしまったため、「自分が見えない」と言われ落とされてしまいました。面接は自分の人間性を知ってもらう場所なので、素直に本音で話しましょう。一度等身大の自己を受け入れ、そこからどのように変化できる可能性が有るのかを検討することで、改めて自分を肯定的に評価できますし、予想外の質問にも落ち着いて対処できると思います。

・自分が明日からその仕事を引き継ぐつもりで原課面接に臨むと質問が浮かびやすいと思います。

・自分の特性(女性、地方出身、国際派など)に沿った質問をすると、自分がどう働いていくのかがイメージしやすくなると同時に、自分の財務局における存在意義のアピールになると思います。

・待機時間は、これまでの面接の振り返りをする時間に充てました。先の面接で自分はどのように感じ何を学んだのか整理しておき、更に疑問に思ったことが有れば、自分の考えをまとめて次の面接で質問していました。

・感染症対策でマスク着用での面接だったので、いつも以上に表情を豊かにすることを心掛けました。

内定者対談

参加メンバー



K



O



司会者



T



Y

対談①

緊張対策&メンタル維持

司会者：本日はお集まりいただきありがとうございます。今回は4人の内定者の方からお話を伺っていきたく思います！よろしくお願いします。

早速質問ですが、緊張のやわらげ方やメンタルの維持方法を教えてください！

Kさん：私は、友達を作るようにしてた。

Yくん：官庁訪問でってということ？

Kさん：そうそう。官庁訪問中とか、私はもう緊張してたから、Tさんと友達になって。

Tさん：Kさん緊張してたの！？？

Kさん：少し。私は地方出身で友達とかいないから、官庁訪問中でも友達作って頼れたことで、精神が安定したと思う。

Yくん：すごく行動力あるね。それと、疑問点はすぐに解決するのも大事だと思う。ほったらかしにしない。わからないことは周りや職員の人にちゃんと聞く。

Tさん：Oくんは緊張しなさそうだね。

Oくん：緊張…はそうだねあんまり。緊張するのは仕方ないから。本番で自分の持っているものの8割出せたらいい方だと思ってて。緊張をしてることを面接官も織り込み済みで、その場でどこまで考えたり喋れたりするかを見てもらってるってことを考えてやってたかな。

対談②

面接時の心構え

司会者：面接対策でやってよかったことはありますか？

Yくん：例えば、「1分で自己PRしてください」って言われて、その場で考えてっていうのは難しいから用意してた。縛りがある質問もあるから、自分なりの文章をあらかじめ考えておくのは必要だと思う。全部その場で考えるのは、相当コミュ力無いときついかな。

Oくん：就活全般で必要だね。

Tさん：私はあんまり文章を覚えてなくて、ガクチカや志望動機は構成だけ頭にいられた。

Kさん：確かに丸暗記だと棒読み感が出ちゃうときがあるよね。

Tさん：丸暗記だと、言葉が出なくなった時に頭真っ白になっちゃうかもしれないと思ったから。

Kさん：私は、同じようなところを目指してる友達と、毎日1回模擬面接をやってた。

Tさん：オンラインで？

Kさん：ずっと勉強もオンラインでつないでやっていて、眠たくなる時間を毎回面接にしていた。

Tさん：えらい！しかも眠くなるときに、ちゃんと起きれるようになっていうのがいい考え。

Oくん：民間を受けている人だと、早い時期から面接経験しているから、イメージはつかめているかもしれない。だけど、公務員用に模擬面接は必要だと思う。

Yくん：模擬面接を1回もやっていない人は、きっと経験しといたほうがいいね。

Oくん：あとは、面接カードから聞かれることが多いから、自分が答えやすいことを面接カードに書くようにしてた。

Tさん：たしかに大事だね。ここ聞いて欲しいです、感を出す。だいたい質問してもらええる気がする。

Oくん：あんまり聞いてほしくないことは具体的に書く。抽象的に記載すると面接官も分からないから質問してくれる。例えば、「色々工夫をして」と書いたら、「どんな工夫したんですか？」って聞いてくれる。

司会者：試験や面接の情報収集はどうしてましたか？自分ならではの事も教えてほしいです。Yくんとか独学ですよ？

Yくん：うん。大学で、先輩の内定者の方と話す機会があったりして。先輩の方と直接連絡として、試験対策や面接対策のことを質問してた。今考えると、ちょっと迷惑だったかもしれない(笑)

Kさん：私は、財務局を去年受けてる先輩がいたから、その先輩を頼ってた。

Yくん：だから、先輩の進路とかを確認しといたほうがいいね。

Tさん：私は予備校には通っていたから、主に予備校から情報を入手してた。ただ、OBOGに総合職志望の方があまりいなかったの、内定者パンフレットやネットの官庁訪問体験記を探して読んでいました。

Yくん：情報はあればあるほどいいよね。油断しないことにもつながる。あと、志望している省庁以外にも、幅広く見ておくのも需要だと思う。第1志望がダメだった時に、どうしようってならなくて済むと思うから。

対談③ 休日の過ごし方

司会者：2週間にわたる官庁訪問中の休日はどのように過ごしていましたか？

Tさん：まず出口面接で出された宿題をしっかりと考えることを大切にしてた。

Yくん：確かに出口面接は1日終わったと思って油断しがちだけど、大切だよな。

Tさん：あとは、他省庁も回ると思うので、それも踏まえて財務局で次のクールに話したいことを練ったり、改めて自己分析したり、政策の知識が足りてなかったら、ホームページや白書、過去のニュースを見たりしていました。私の場合、官庁訪問で知り合った人と通話をしたり、直接会ったりすることもあったな～。

Kさん：Tさんとはたくさん電話したよね！

Oくん：僕は休むことを大切にしてたな。

Kさん：私の場合は休日も図書館に行って勉強してたよ！

Yくん：行動しないと心配になってしまう性格なんじゃない？

Kさん：そうかもしれない！！(笑)

Yくん：僕は官庁訪問の疲労回復が重要なのでしっかりと休みつつ、官庁訪問を通してどのように成長したかを言語化できるようにまとめてかな。次のクールに呼ばれているということは現状維持ではいけないから、成長した姿を示していく必要があると思う。

対談④

官庁訪問で大変だったこと

司会者：官庁訪問で大変だったことを教えてください。

Kさん：お腹は空くのに食べ物が喉を通らず大変だったな。官庁訪問中の2週間でかなり痩せて、財務省内のコンビニで買った餃子スープしか喉を通らなかったな～。

Tさん：私の場合は、眠くなるとメンタルがぶれてしまう性格だから、食べて眠くなることが大変だった。逆に帰宅した時は、官庁訪問の影響で脳みそが興奮状態なので、夜眠れても朝早く目覚めてしまい睡眠不足になったのが辛かったなあ。

Yくん：官庁訪問は次のクールに進めることもあれば、そうでないこともあるので、メンタルの管理が非常に大変だね。

司会者：確かにメンタル管理は本当に大変ですね。Oくんは何か大変だったことありますか？

Oくん：僕は地方出身で官庁訪問期間はホテルに泊まっていたので、スーツのクリーニングが大変だった。ホテルで頼むと高いから、近くで安くクリーニングしてもらえるお店を探したな。

司会者：地方出身ならではの大変さですね。

最後に

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

就職活動では様々な困難に直面し、思い悩むことも少なくないと思いますが、その中でも皆様は自分に真摯に向き合い、日々頑張っておられると思います。このパンフレットに書かれた内容がこれからの公務員試験や官庁訪問の一助となれば幸いです。また、皆様が財務省財務局総合職に興味を持ち、働きたいと思ってくだされば、この上なく嬉しいです。皆様が自分を信じて前向きに就職活動ができるよう応援しています。

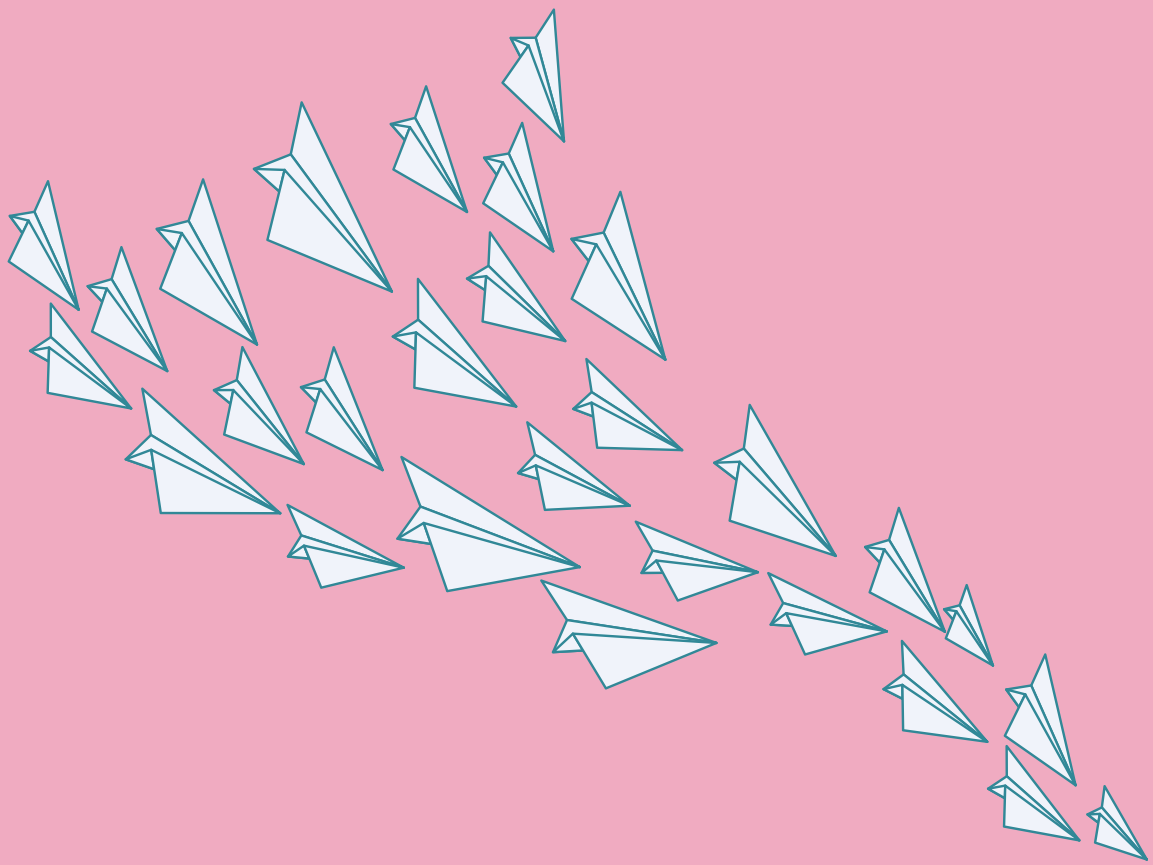
この度のパンフレット作成にあたり、人事の皆様を始め、数多くの方々のご支援、ご協力を賜りました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

令和5年度財務省財務局総合職内定者一同

【注意事項】

この冊子の文責は、令和5年度財務省財務局総合職内定者にあります。よって、このパンフレットの内容は、内定者の個人的見解によるものであることにご留意ください。

また、本名は掲載されておりませんが、個人を特定できる情報が含まれています。そのため、取り扱いには十分ご注意ください、無断での複写・複製・転載等なさらないうようお願いいたします。



財務省財務局